



いわさきこども園



2024.10.25

みんなで“イメージ”をふくらませよう!

日が暮れるのが早くなり朝夕の冷え込みが秋の深まりを感じさせます。日中はまだ汗ばむような秋空のもと、子ども達は散歩先で虫等を見つけ、園庭で元気いっぱい走り回って遊んでいます。

先日の3歳以上児の運動会は雨が降り心配しましたが、子ども達の思いが通じたのか、いい天気にも恵まれ大成功に終わりました。子ども達の頑張る姿に目頭が熱くなったのではないのでしょうか?子ども達は一つ大きな行事を終え、一人一人が大きく成長しました。また子ども達にとって保護者の方々が頑張る姿はとても良い刺激となったようです。温かい応援、お便りありがとうございました。

今度は『はっぴょうかい』に向けて動き出しています。はっぴょうかいでは一人一人が輝けるステージをお見せできるようにしたいと思います。未満児クラスの参観日も普段子どもが遊んでいる様子を取り入れ、お家の方々に楽しんでもらえる内容となっています。皆さんお楽しみに!

過ごしやすい季節とは言え、これからだんだんと寒くなり風邪が流行する時期を迎えます。早めの予防接種や手洗い・うがいなど風邪予防を習慣づけ、みんなで体調を整え風邪に負けない体力づくりをしていきたいと思ひます。

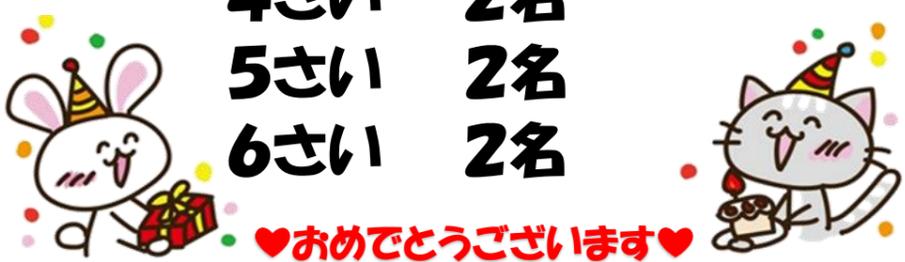
園長 岩川 明子



Happy Birthday

★11月生まれのおともだち★

2さい 1名  
4さい 2名  
5さい 2名  
6さい 2名



♥おめでとうございます♥



- 3日(日) ゆざわ子育てOっと応援DAY
- 6日(水) はっぴょう会リハーサル
- 9日(土) はっぴょうかい
- 11日(月) 祖父母参観日(たんぼぼ組)
- 12日(火) 祖父母参観日(ひまわり組)  
避難消火訓練(祖父母の方と一緒にいきます)  
だいすきぴったんこ発行
- 13日(水) 祖父母参観日(ふじ組)
- 15日(金) 安全点検日
- 16日(土) 未満児デー(ちゅうりっぷ組・さくら組・すみれ組)
- 19日(火) 園開放
- 20日(水) クラスだより発行
- 21日(木) 交通安全指導  
社会見学(たんぼぼ組:岩崎郵便局  
ひまわり組:花よし  
ふじ組:石孫本店)
- 22日(金) 誕生会・ノーマディアデー
- 25日(月) しゃぼんだま発行
- 26日(火) 運動遊び(ひまわり組・ふじ組)
- 28日(木) 幼保年長児交流会(ふじ組)  
※いわさきこども園で双葉幼稚園・みたけこども園の年長児と交流します



~おしらせ~

・たくさん体を動かして遊び、水分補給をする子どもも多いので、ふじ組は引き続き水筒の持参を宜しくお願いします。

**職員の研修内容**

- ・教頭主任研修会Ⅱ(11/1)
- ・キャリアアップ研修(~12/16)
- ・県保育士会調査委員会(11/5)
- ・5年研修(11/15)
- ・特別支援研修会Ⅱ(11/15)
- ・施設長研修(11/19)
- ・園内研修(11/20)
- ・保育士研修(11/21)

すみれ組

お兄さん・お姉さんみたいにできるかな?



運動会で見たふじ組のバルーン演技がカッコよくて、すみれ組でも音楽を流すと『みんな持って~』とままごとの風呂敷を友達と一緒に持ってクルクル回ったり『おててはピンッ!』と片手を“ピンッ”と挙げてポーズを決めたりして遊んでいます。気分はすっかりお兄さん・お姉さん!よく見ていたんだな…と感心させられます。

ふじ組

ハロウィングッズを作ってみよう!



玄関に飾られた大きなハロウィンのカボチャの入れ物。みんな気になって中を覗いていますが、中が空っぽなのに気づいた子ども達で『キャンディー作ろう』とハロウィンらしい折り紙の柄や中に入れる素材を探してじっくり作っています。そのうち『カボチャも作ってみよう!』と部屋のままごとの鍋やコップに折り紙を貼ってカボチャの完成!顔のパーツも自分達で書いて切ったり、みんなに見てもらえるように…と飾る場所も考えたりして、玄関に並べて大満足の子も達です。



普段の生活の中の経験や関心をもった活動からイメージを膨らませ体を動かしてみたりイメージを形にしてみたりして年齢毎に様々な遊びを楽しんでいる子ども達。子どもの興味関心を受け止め一緒に必要な用具を用意していくことで、友達ともイメージを共有し一緒に遊びを広げています。また、自分の思いを言葉にして伝えることも多くなり、お互いが伝え合って遊ぶ姿が多く見られるようになっていきます。

子どもの“楽しかった経験”や“興味・関心をもったこと”、“友達と思いを伝えあう喜び”どれもが子どもの遊びへの意欲と自信につながり、人との関わりや相手に伝える力となっています。

これからはっぴょうかいのダンスやごっこ遊びなど、イメージしたことを存分に表現して楽しむ機会が多くなってきます。

子どもの興味関心に寄り添いながら更に遊びが楽しくなるよう、“やってみよう”“試してみよう”と一緒に試行錯誤していきたいと思ひます。

